

【別表】研究計画書チェックリスト（指導者用）の例

（◎は、特に重要な項目）

項目	基準
1. 研究題名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適度な長さで、明快な表現が用いられているか ○ 研究内容全体が正しく反映されたものとなっているか ○ 本文を読んでみたくなるような、魅力的な題名であるか
2. 研究の背景 <文献検索> <文献レビュー>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生自身の問題意識が明瞭に読み取れるか ◎ 文章の構成が論理的であるか（ストーリーの流れが追いやすいか） ○ 文献検索の方法（データベース名・キーワード・年代等）および結果が簡潔にまとめられているか ○ 関連分野の主要な先行文献が（漏れなく）引用されているか ○ 先行文献が適切に要約されているか ◎ これまでに何がわかっているか、何がわかっていないかが明確に述べられているか ◎ 先行文献の流れの中でこの研究がどこに位置付けられ、どんな新しい知見を加えることになるかが明確に述べられているか ◎ この研究を行うことの重要性が説得的に述べられているか ○ 専門外の者が読んでも研究の意義が伝わるように書かれているか
3. 研究目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究の背景や文献レビューの論理的帰結として、目的・仮説が提示されているか（論理に飛躍や矛盾がないか） ○ 研究の実行が可能な程度にまで、目的・仮説が具体的かつ特異的（specific）に絞り込まれているか ○ 誰を対象に（who）、何を（what）どのように（how）調べればよいかを読み取れるような表現になっているか ○ その目的で研究することに、普遍性や発展性が期待できそうか
4. 研究方法 (1) デザイン (2) 対象者 (3) 実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究デザインの名称が明記されているか ○ その研究デザインは、前項の研究目的と合致しているか ○ 研究対象となる者が明確に定義されているか ○ その対象者を選ぶことは、前項の研究目的と合致しているか ○ 対象者数の算定根拠が示されているか ○ 研究を実行することが可能な場所が選定されているか

	<ul style="list-style-type: none"> ○ その場所を選ぶことは、前項の研究目的と合致しているか
(4) データ収集方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収集するデータの内容（測定項目など）が明記されているか ○ そのデータを収集することは、前項の研究目的と合致しているか ○ データ収集の開始・終了時期が明記されており、その期間の長さが適切か ○ データを誰がどこでどのように収集するかが明記されているか ○ 質問紙の様式など、必要な資料が添付されているか
(5) データ分析方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収集されたデータの量や性質に即した分析方法を用いているか ○ その分析方法は、前項の仮説の可否を検討する上で適切であるか
(6) 倫理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◎ この研究においてどのような倫理的問題が想定されるかが正しく把握・理解できているか ○ 倫理的問題の発生を回避するための適切な方策が述べられているか ○ 万一、倫理的問題が発生した場合に講ずるべき対処法が述べられているか ○ 同意書の様式など、必要な資料が添付されているか
5. 引用文献	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第三者が文献にあたるのに必要な情報が漏れなく記載されているか ○ （学術雑誌を特定する場合）投稿規程に定められた形式に合致しているか